

博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 次の各文章の①～⑩の()について、下の□の中から最も適切な語句を選び、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。(各2点)

- (1) 人間が感じる光の明るさを数値化したものが(①)で、単位は lx (ルクス) で表す。また光源の光色を数値化したものが(②)で、単位はK (ケルビン) で表す。
- (2) ミュージアムにおける照明は、照明技術の発展と共に変化してきた。明治・大正期には(③)のほかに、人工照明として(④)が利用された。1940年代以降、白く柔らかい光が特徴的な(⑤)の利用が次第に増え、資料保護に配慮し美術館・博物館照明に適したものも開発された。近年では、小規模なスポットライトである(⑥)や、省電力で発熱量の少ない(⑦)の導入も進んでいる。
- (3) 波長の短い(⑧)は資料の劣化を促進させる。波長の長い(⑨)は資料の表面温度を上昇させる。
- (4) 照明による陰影の利用は、彫刻など展示物の(⑩)を表現する場合にも有効である。

ア. 紫外線	イ. 立体感	ウ. LED	エ. 赤外線	オ. 蛍光灯
カ. 色温度	キ. 自然光	ク. 照度	ケ. 白熱灯	コ. 光ファイバー

2. 次の資料のうち、光の影響を受けやすいものには【A】、影響を受けにくいものには【B】を記入しなさい。(各1点)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| (1) 浮世絵 | (2) 陶磁器 | (3) 動植物標本 | (4) 水彩画 |
| (5) 写真 | (6) 鉱石標本 | (7) 染織品 | (8) 金属 |
| (9) 土器 | (10) 印刷物 | | |

3. 博物館展示の「現代化」が1980年頃から始まり、博物館展示がコミュニケーションの場として機能するため「開かれた博物館」としての3点(1. デジタル 2. 体験 3. 運営)の柱を立てて、その推進を模索している。()内の3点の柱について、その特徴をそれぞれ100字程度で説明しなさい。(各10点)

4. 博物館展示の構想から完成までの手順を各展示設計のポイントを押さえて300字程度で述べなさい。(20点)

5. 来館者の展示評価調査として、「選択式アンケート調査」「面接アンケート調査」「行動観察調査」という調査方法がある。それぞれの調査方法と特徴を、以下の用語を用いて300字以内で述べなさい。(20点)

【 数値化データ サンプル数 質問・回答の自由度 観覧者の動線 展示物の観覧時間 】